



一日も早い戦火の終息を
心から祈ります。

第7回 食と農の未来フォーラム

「限界を迎える限界集落ー消えつつある自給自足の農と里山暮らし」 （山梨・上野原市西原 富澤太郎さん）

ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」主宰
中田哲也

<https://food-mileage.jp/>
e-mail;

tetsuya.nakata913(アットマーク)gmail.com



（本資料は後日、共有します。）

ご挨拶と自己紹介



1960年 徳島市生まれ

1982年3月 岡山大学農学部卒業、2012年 千葉大学大学院園芸学研究科修了
博士(農学)

1982年4月 農林水産省入省

2001年4月～3年7月の間、農林水産政策研究所において篠原孝所長
(現・衆院議員)の指導の下、フード・マイレージに関する研究に従事

その後、九州農政局(熊本市)、北陸農政局(金沢市)、統計部数理官等を経て2020年3月 定年退職。2025年3月、再任用終了

個人的なライフワークとしてフード・マイレージの普及等に取り組み
ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」主宰

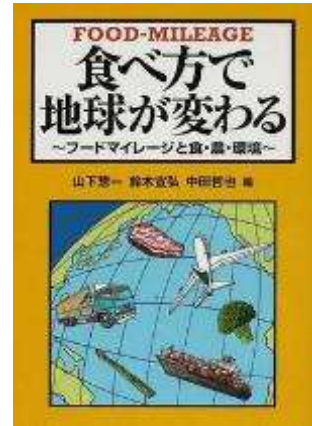
(ブログ、メルマガなど) <http://food-mileage.jp>

著書 『フード・マイレージーあなたの食が地球を変える』
(2018(新版)、日本評論社)

『食べ方で地球が変わる フードマイレージと食・農・環境』
(山下惣一氏、鈴木宣弘氏との共著、2007.7、創森社) 等

東京・東村山市在住

自宅近くに市民農園の一面(30平米)を借りて農作業の真似事



「食と農の未来フォーラム」について



写真:野生キンラン（東京・東村山市）、堰浚いボランティア（福島・喜多方市）、PresentTree植樹イベント（山梨・笛吹市）

1 開催の趣旨と目的開催の趣旨

（１）現在、食と農は様々な深刻な課題に直面。

例：食料自給率の低迷、担い手・農地などの急速な減少、農村の過疎化と「限界集落」化、栄養バランスの崩れと食生活の乱れ、膨大な食品ロス 等

（２）これらの課題の多くは、基本的に「食（食卓、消費者、都市）と農（産地、生産者、農村）の間の距離」が離れてしまっていることに起因。

多くの都市の消費者にとって、食べものは、お金さえ出せばいつでもいくらでも買える単なる「商品」に。
どこで、誰によって、どのように生産されて食卓まで運ばれてきているか想像できず。

食はいのちの源。食べものを大切に思う心、食の生産に携わっている方たちへの敬意、自然への畏敬の念を取り戻す必要。

（３）本フォーラムは、都市の一般市民（消費者）の方々を主な対象として、食と農の現場の実情と課題を身近に感じ、自主的な行動変容につなげて頂くことを期待して、月1回程度、食や農の「現場」に精通しているゲストをお招きして、中田個人（ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」）の主催により開催。

食や農の現状に興味・関心をお持ち方など、幅広い皆様の参加をお待ちしています。

2 開催実績と予定

【第1回】2025年6月30日（月）午後7時～9時、オンライン

開催趣旨等について中田から説明と意見交換（概要）<https://food-mileage.jp/2025/07/04/blog-587/>



【第2回】7月23日（水）午後7時～9時、オンライン

大友 治さん「米は田んぼだけで作られるのではない 稲作が生産するのは米だけではない」

（概要）<https://food-mileage.jp/2025/07/27/blog-592/>

【第3回】8月26日（火）午後7時～9時、オンライン

鈴木純子さん「原発被災地でオーガニックコットンを育て「続け」ること」

（概要）<https://food-mileage.jp/2025/08/30/blog-598/>



【第4回】9月20日（土）午後7時～9時、オンライン

榊田みどりさん「都市住民こそ他人事じゃない！ 私たちの食べものは大丈夫？」

（概要）<https://food-mileage.jp/2025/09/25/blog-602/>

【第5回】10月27日（月）午後7時～9時、オンライン **佐久間 建さん、藤崎美智子さん**

「ハンセン病問題を基礎から学び、紙芝居『わたしの命の物語』から生きやすい社会について考える」

（概要）<https://food-mileage.jp/2025/11/02/blog-608/>



【第6回】11月25日（火）午後7時～9時、於 パレスチナ料理店・**Bisan**（東京・十条）

高橋美香さん 「パレスチナの家族の今」

（概要）<https://food-mileage.jp/2025/11/28/blog-610/>

【第7回（本日）】2026年1月31日（月）午後7時～9時、オンライン

富澤太郎さん 「限界を迎える限界集落—消えつつある自給自足の農と里山暮らし」

【第8回（予定）】 2月17日（火）午後7時～9時、オンライン

釘島浩子さん 「「日本人ファースト」って？『武士の娘』から考える」（仮題）

（参考）<https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480027825/>

【第9回以降の予定】 月1回程度、食や農の「現場」に精通しているゲストをお招きして基本的にオンライン開催（時にはリアル）



「限界集落」とは

- 大野晃（高知大学）が1988年に提唱した概念
 - ① 65歳以上の高齢者が集落人口の50%を超え、
 - ② 集落の共同活動の機能が低下し、
 - ③ 社会的共同生活の維持が困難な状態にある集落のこと

「中山間地域」とは

- 定義的には、「山間地及びその周辺の地域その他の地勢等の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な地域」（食料・農業・農村基本法 第47条）
- 統計としては、
「農林水産統計の農業地域類型区分のうち、
中間農業地域及び山間農業地域」

都市的地域 [900市区町村]

- ・ 可住地に占めるDID面積が5%以上で人口密度500人/km²以上又はDID人口2万人以上 等

平地農業地域 [754]

- ・ 耕地率20%以上かつ林野率50%未満 等

中間農業地域 [980]

- ・ 耕地率20%未満で都市的地域及び山間農業地域以外 等

山間農業地域 [730]

- ・ 林野率80%以上かつ耕地率10%未満

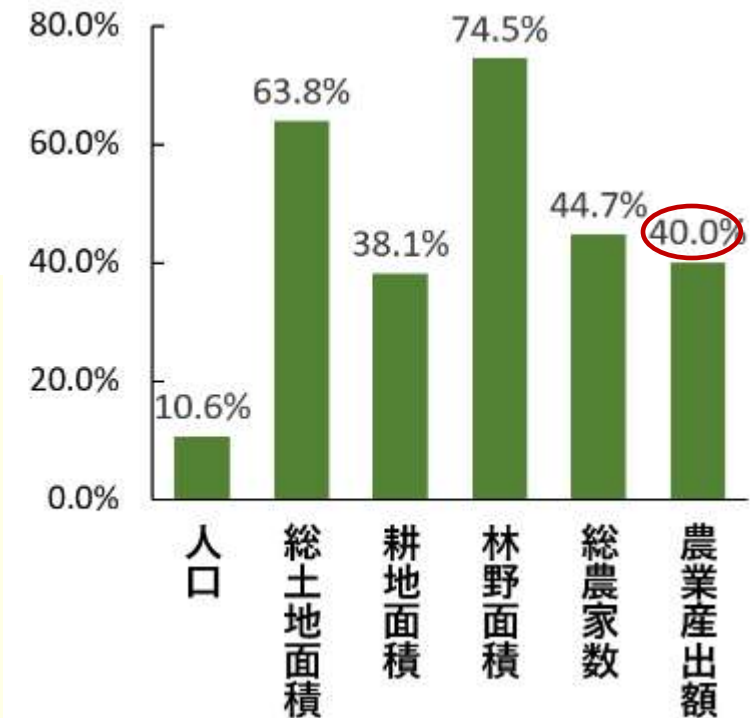


図235 中山間地域のシェア 5

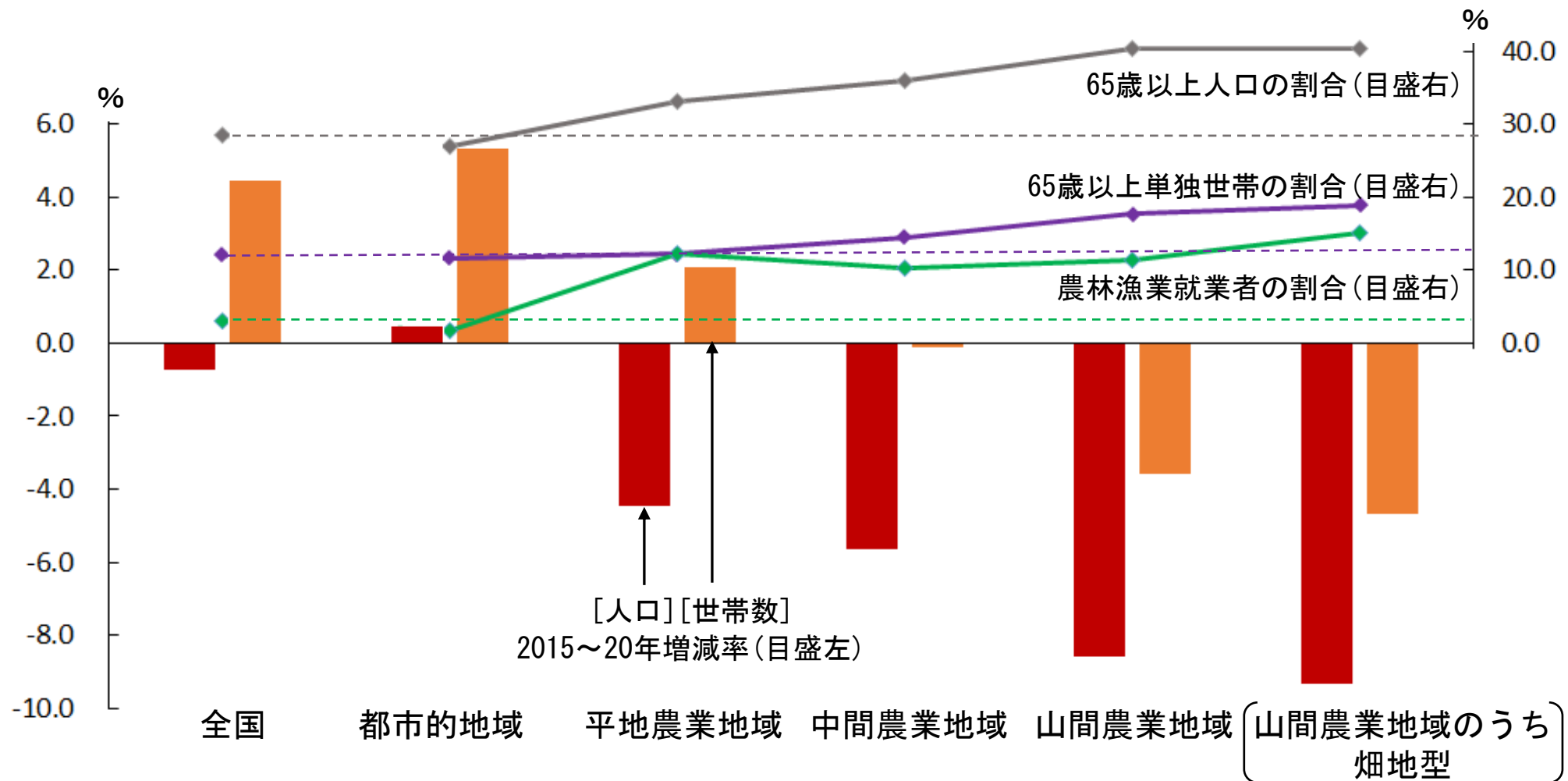


図302 過疎化、高齢化等の進行状況（農業地域類型別）（注：図の番号は拙メルマガの号数）

資料：総務省「国勢調査」（都道府県・市区町村別の主な結果）及び農林水産省「農業地域類型」から作成。

<https://www.e-stat.go.jp/stat>

[-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001049104&cycle=0&tclass1=000001049105&tclass2val=0](https://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki_ruikei/setsume.html)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki_ruikei/setsume.html

注：市区町村別のデータを農業地域類型で組替え集計したものである。また、増減率以外は2020年の数値である。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/>

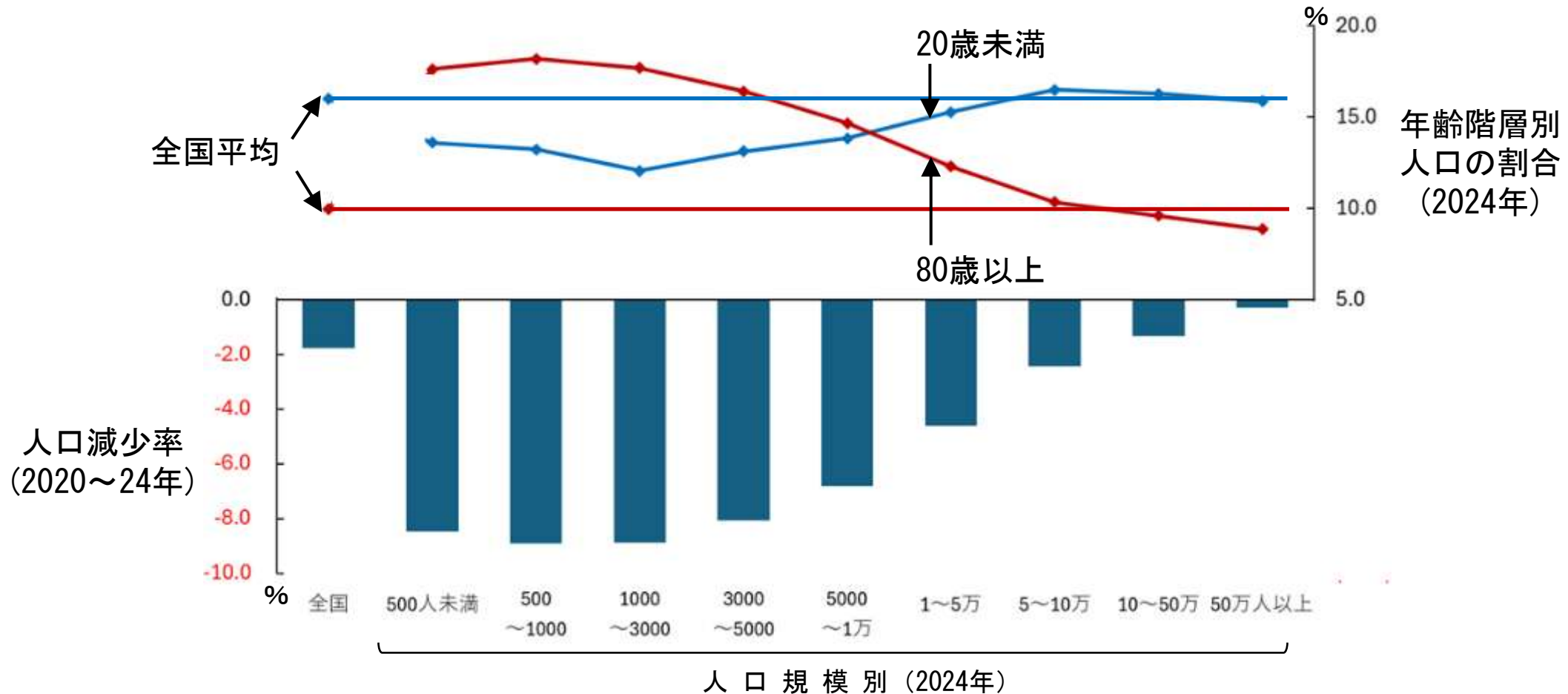


図320 人口規模別にみた人口減少率と高齢化率等

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（2024年1月1日現在）」から作成。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/daityo/jinkou_jinkoudoutai-setaisuu.html

注：市区町村別を人口規模別に集計したものである。

出典：フード・マイレージ資料室

<https://food-mileage.jp/>

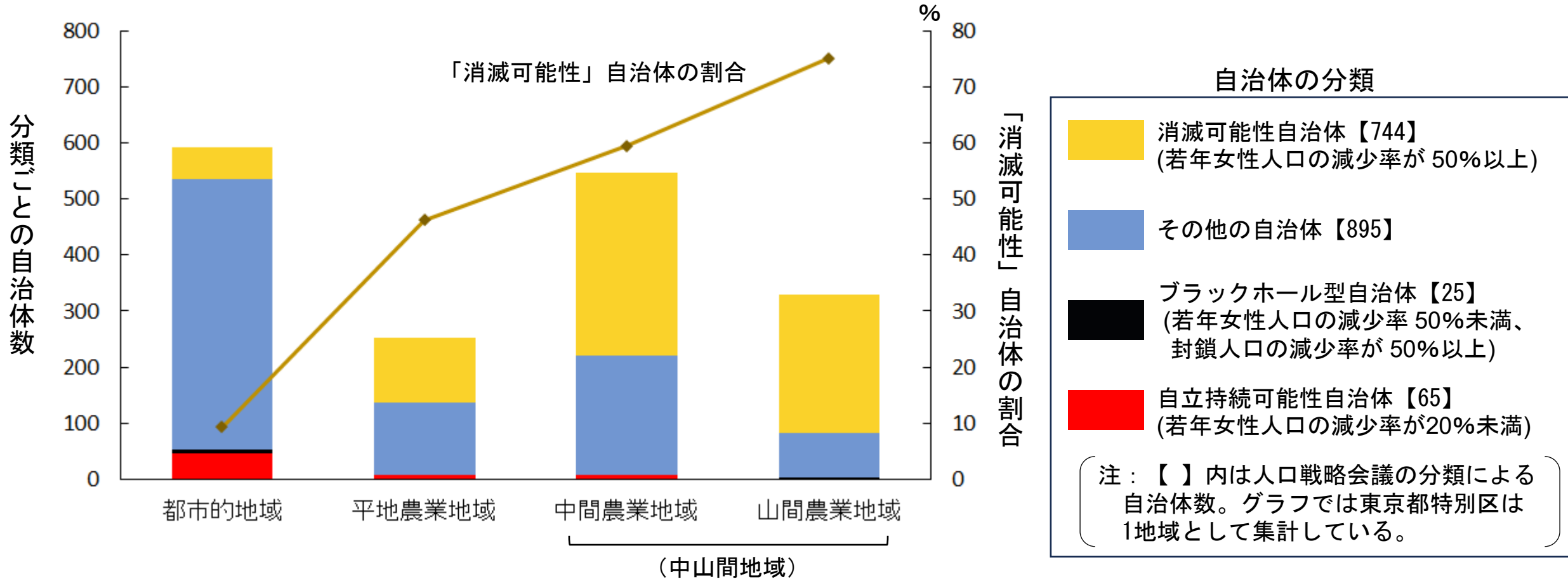


図291 農業地域類型別にみた「消滅可能性自治体」

資料：人口戦略会議「令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート」(2024年4月)、
https://www.hit-north.or.jp/cms/wp-content/uploads/2024/04/01_report-1.pdf
 農林水産省「農業地域類型(2023年3月改定)」から作成。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki_ruikei/setsume.html

注：1) 人口戦略会議のレポートは、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2023年推計)における20～39歳の女性人口(若年女性人口)の将来動向に着目し、全国の自治体を4分類したものである(福島・浜通りは1地域として推計)。
 2) 農業地域類型とは、市区町村等ごとに地域の土地利用上の特性により類型化したものである(東京都特別区は1地域としている)。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/>

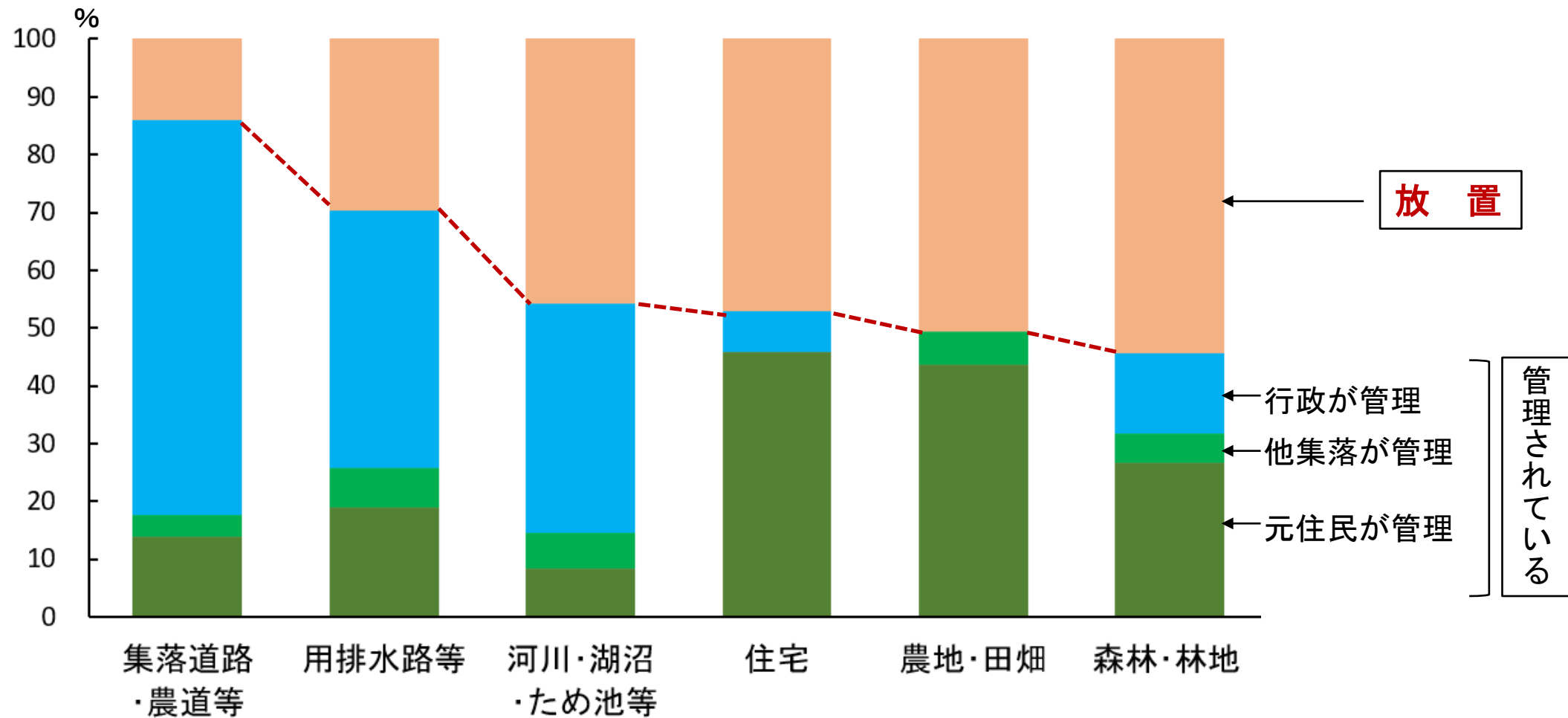


図290 消滅集落跡地の主な地域資源の管理状況

資料：総務省「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査（最終報告）」（2020年3月）から作成。

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei10_02000066.html

注：1) 全国の過疎地域等1,045市町村を対象とした調査で、回収率は100%である。

2) 2015年以降に全国96市町村で164集落が消滅している。本図は、消滅した集落跡地における主な地域資源の管理状況を示したもので、割合は「該当なし」及び「無回答」を除いた合計から算出している。

3) 住宅の「行政」には「ボランティア等が管理」（1件）を含んでいる。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/>

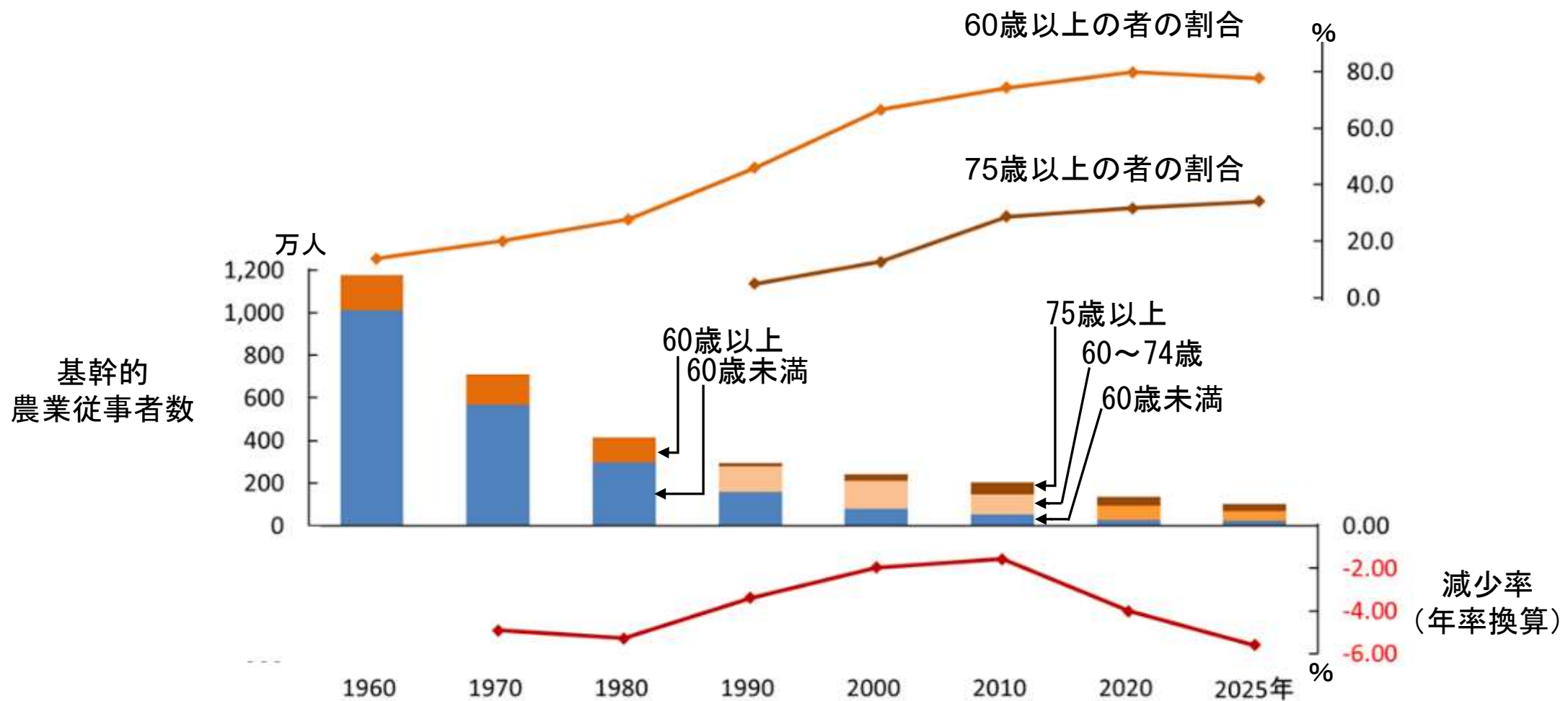


図330 基幹的農業従事者数の推移

資料：農林水産省「農林業センサス」累年統計表等から作成。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noucen/index.html>

注：1) 基幹的農業従事者とは、自営農業を主な仕事としている世帯員のことである。

2) 1980～2010年は販売農家、2020年以降は個別経営体の数値であるなど、厳密には連続しない。

3) 各年2月1日現在の数値である。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/>

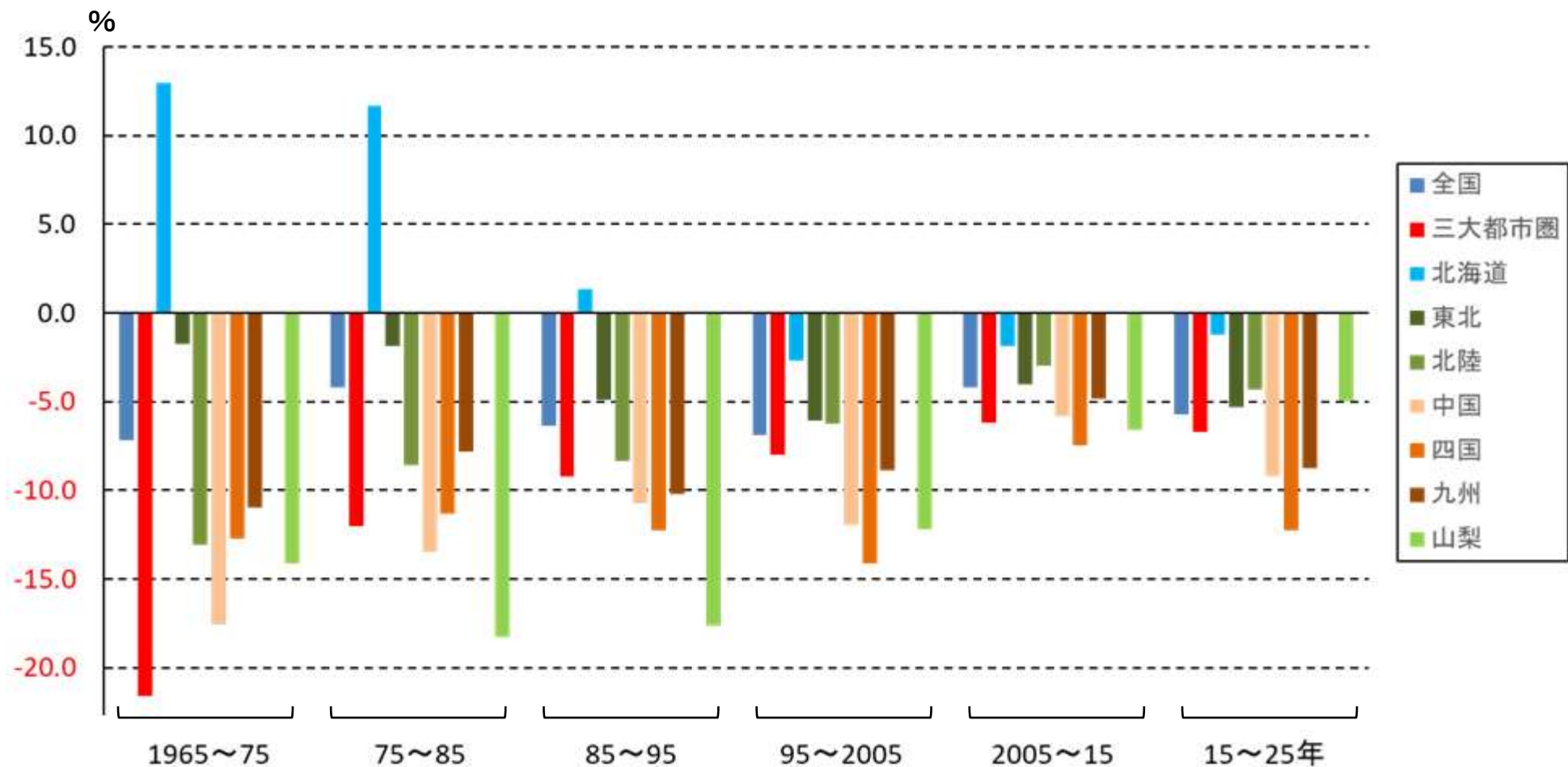


図334（予定） 地域別にみた耕地面積の増減率

資料：農林水産省「作物統計（面積調査）」から作成。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/index.html#l>

注：1) 田畑計の数値である。

2) 三大都市圏とは、埼玉、千葉、東京、神奈川、岐阜、愛知、三重、京都、大阪、兵庫の各府県である。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/>

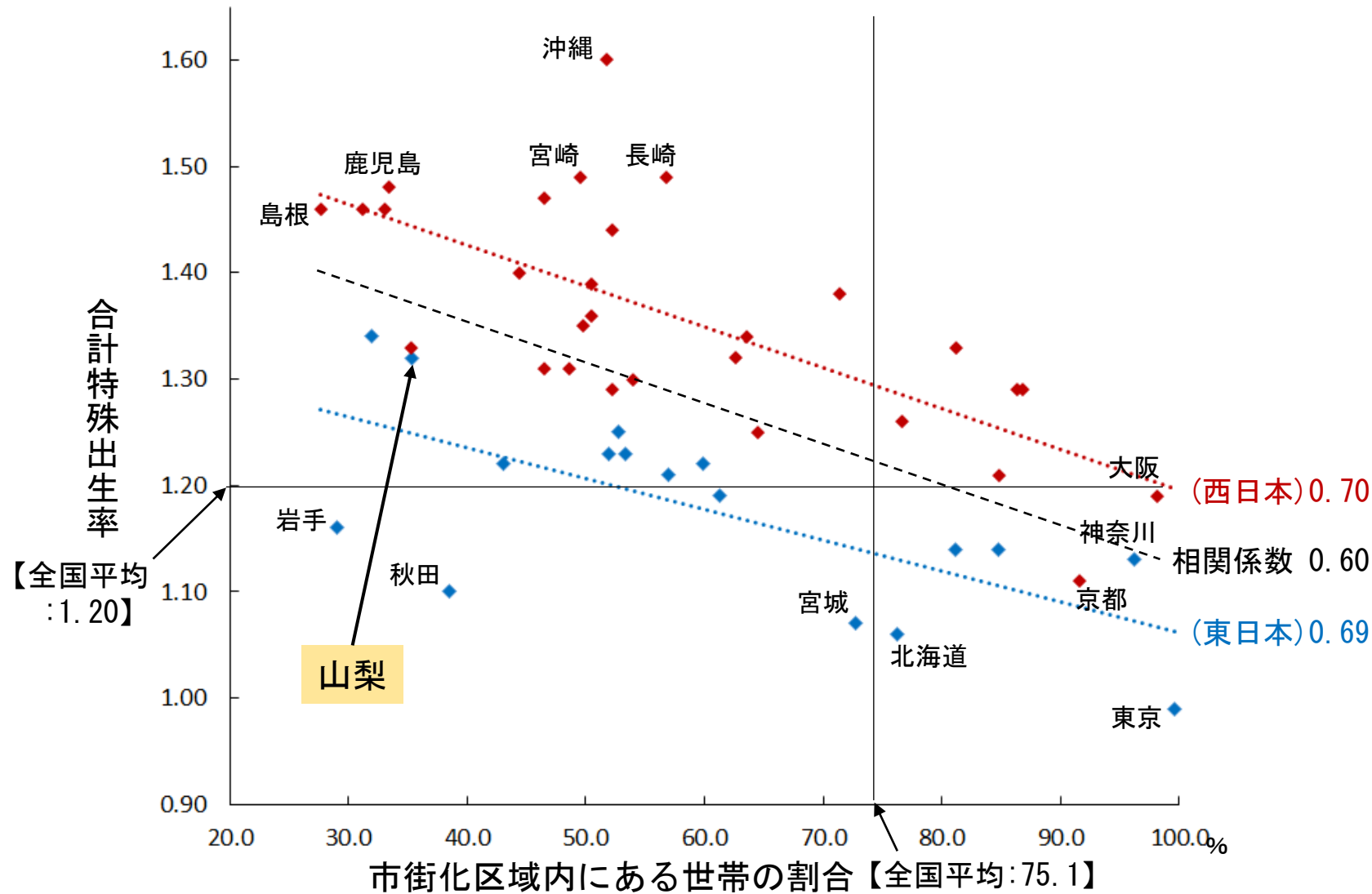


図294 市街化区域内にある世帯の割合と合計特殊出生率（都道府県別）

資料：厚生労働省「令和5年(2023)人口動態統計月報年計（概数）の概況」（2024.6）、総務省「令和2年(2020)国勢調査」（2022.5）から作成。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai23/index.html>、<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>

注：1) 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

2) 市街化区域とは、既に市街地を形成している区域又は概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべきとする区域である。

3) 東日本は新潟、長野、山梨までとした。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」 <https://food-mileage.jp/>

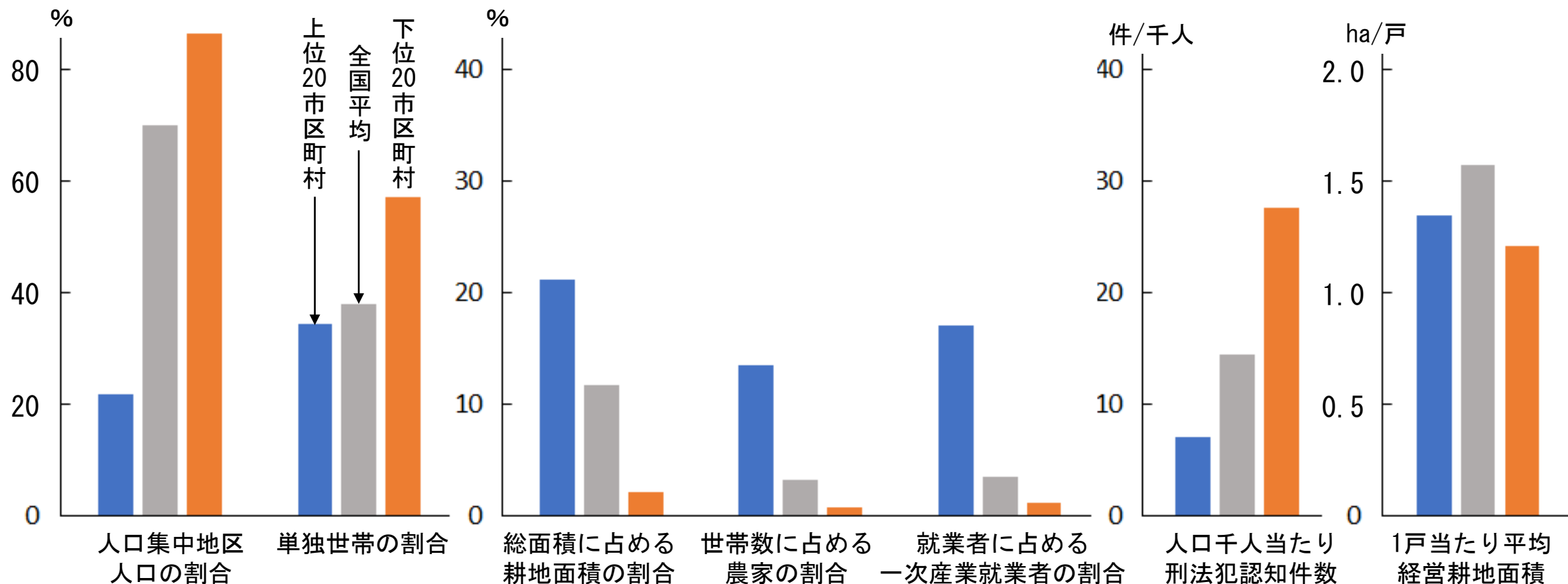


図295 合計特殊出生率が上位の20市区町村の特徴

資料：総務省「社会・人口統計体系データベース」を用いて作成。なお、1戸当たり平均経営耕地面積は農林水産省「農林業センサス」（総農家）から作成。

<https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsvview/municipality>、<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>

注：1) 以下による2022年の合計特殊出生率が上位20市区町村の各種指標について、全国平均、下位20市区町村と比較したものである。各指標は2020年、刑法犯認知件数のみ2008年。

厚生労働省「平成30年～令和4年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況（人口動態統計特殊報告）」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/other/hoken24/dl/gaikyou.pdf>

上位20：鹿児島・徳之島町、同・天城町、沖縄・宜野座村、鹿児島・長島町、沖縄・金武町、同・南風原村、同・久米島町、同・八重瀬町、同・糸満市、同・与那原町、

鹿児島・南種子町、沖縄・今帰仁村、同・豊見城市、鹿児島・中種子町、同・伊仙町、沖縄・東村、熊本・錦町、沖縄・石垣市、長崎・佐々町

下位20：京都市東山区、大阪市浪速区、京都市上京区、同・下京区、埼玉・毛呂山町、福岡・中央区、東京・豊島区、同・中野区、北海道・札幌市中央区、神奈川・箱根町、

大阪・豊能町、京都市中央区、東京・杉並区、同・渋谷区、大阪市西区、東京・目黒区、大阪市中心区、北海道・当別町、東京・新宿区、宮城・仙台市青葉区

2) 人口集中地区(DID)とは人口密度が4,000人/1km²以上の地区が互いに隣接し全体で人口5,000人以上を有する地区、単独世帯とは世帯人員が一人の世帯である。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/>



1月
31 第7回 食と農の未来フォーラム「限界を迎える限界集落－消えつつある
自給自足の農と里山暮らし」（山梨・上野原市西原 富澤太郎さん）

○ ゲスト：富澤太郎（とみさわ・たろう）さん

横浜生まれ。2013年、26歳の時に山梨・上野原市の西原（さいはら）地区に移住。

農業（野菜や雑穀）、林業、炭焼き、竹かごづくり、地元のNPO、消防団活動、祭りの維持・継承等で幅広く活躍。

○ 録画して、申し込んで下さっている方にはアーカイブ配信（30日限定）

○ スケジュール

10:00～10:10 主催者からのフォーラムの趣旨等の説明

10:10～11:10 富澤太郎さんのお話

11:10～12:00 参加者との間で質疑応答、意見交換、感想等のシェア（できれば全員からご発言を）
「しごと塾さいはら」の説明も。

12:00～ 30分ほど延長戦？（録画なし）